

2023年度（令和5年度）学校評価自己評価表

神辺東中学校区	校番 35	福山市立神辺東中学校
最終更新日		2024年（令和6年）2月14日

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容 各校ともに教職員が一丸となって学力課題等の改善へ向けた重点取組が進み、子どもたちの意識が変化している。教職員のやりがいや充実感を基盤に、小中間で学力の伸び調査等にみられる課題改善の具体策を共有し、さらなる基礎学力の定着を期待する。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標を持ち、学校生活全般に渡り主体的に頑張ることができ、全体的な規範意識は高い。 授業では共同的な学習に積極的に取り組んでいるが、自分の考えを持ち、意見を練り合い合意形成する場面や表現のスキルの獲得状況が十分でない。また基礎学力の定着にも課題がある。 	<p>育成する力 21世紀型“スキル&倫理観”</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>問題解決能力・コミュニケーション力・意思決定力</p> <p>自己を認識し、「なりたい自分」をめざし、自分の人生を選択し、自分らしく表現することができる。</p> <p>• わくわく感をもって課題を探究し自分らしく表現する子どもの学びの創造</p> <p>• 「あいさつ」の大切さを実感し、家族や友達、教師や地域に向けて実践する力の育成</p> <p>• 「ふるさと学習」のSDGs・ICT活用による改善</p> <p>• 「家庭学習」で子ども主体の学びの推進のための発達段階に応じた取組の明確化と実践</p> <p>• 「体力向上」にむけた子ども主体の取り組みの推進</p>
--	---	--	--

III 自校

<p>ミッション</p> <p>ふるさと安那（やすな）を愛し、自己実現に向け将来をたくましく生き抜く力を培い、地域・保護者との繋がりを深め、地域にある学校として信頼される学校教育を創造する。</p>	<p>育成する力 21世紀型“スキル&倫理観”</p> <p>めざす子ども像</p> <p>意</p>	<p>問題解決能力 コミュニケーション力 意思決定</p> <p>主体的に問題をとらえ、その解決に向けて、正しい情報を取捨選択し、よりよい解決方法を粘り強く考え、工夫して表現することができる。</p> <p>問題の解決に向けて、他者と積極的に意見交流をしようとする意欲を持ち、自分の考えをわかりやすく伝えたり、他者の意見を丁寧に聞いたりするスキルを身に付け、よりよい問題解決に向けた合意形成ができる。</p> <p>問題の解決に向けて、自分の考えを明確に持ち、他者の考えも受け入れながら柔軟に判断し行動できる。</p>
<p>学校教育目標</p> <p>自信と誇りを持ち 心豊かに たくましく生きる生徒の育成</p>	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>内容等</p>	<p>わくわく感をもって、課題を探究し、自分らしく表現する生徒の学びの創造</p> <p>生徒自ら思考回路を構築して自己表現し、探究するための指導方法を明らかにする。</p> <p>生徒は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら問いを創り、わくわく感を持って学んでいる。 ○自らチャレンジしようとする意欲にあふれ、ICT・思考スキルや共同的な学びを活用して粘り強く探究し、考えたことを自分らしく工夫して自己表現しようとしている。 ○自分の考えをわかりやすく伝えたり、他者の意見を丁寧に聞いたりして、共同的な学習による合意形成を楽しんでいる。 <p>めざす授業の姿</p> <p>教師は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の自己表現による問題解決場面を設定し、役割を認知の仕組みから見直し、「生徒一人一人の学びを見る・学びを待つ・選択を促すファシリテート」できる。 ○不思議の種をまき、生徒自ら問いを創り思考回路を構築できるよう支援している。 ○リアル（対話的体験的な学習）とデジタル（ICT教材や思考スキル等）を有効活用。 ○固定概念にとらわれない評価規準・評価材料を柔軟に設定し計画的に実施している。 ○生徒指導の3機能（自己決定の場を与える。自己存在感の場を与える。共感的人間関係を育成する。）を生かし、どの教科でも学習集団を育成している。
<p>現状</p> <p><生徒></p> <p>基本的には素直でまじめな生活態度で、規範意識も高い。しかし、自分の考えや思いを表現することが苦手な生徒が多く、返事や発表等、自信を持ってできる生徒が少ない。自分の考えや思いを堂々と表現できる力をつける必要がある。</p> <p><授業></p> <p>「子ども主体の学び」を目指し、問いを立てICTの活用を手立てとして取組みを進め、教師が説明する授業スタイルからの脱却を進めている。8割の生徒が「授業が楽しい」「授業がよく分かる」と回答しているが、基礎学力の定着状況には課題があり、二極化傾向が見られる。「子ども主体の学び」へ向け授業研究を進め、探究的な生徒の学びを創造する必要がある。</p>		

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							□指標に係る取組状況	70%以上評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	70%以上評価	達成評価	総合評価	改善方策
2	「子ども主体の学び」づくりを推進し「学びが面白い」と実感する賢い生徒の育成	★	継続	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学び、自己表現できる生徒を育成 	<ul style="list-style-type: none"> 全授業で自分の考えを書き、表現(交流)し、確認できる場面の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ①「思考回路を構築」した授業実践(1単元/学期)100% <生徒アンケート>各教科等の授業で ②「わくわくする問いがある」と回答した生徒80% ③「学びが面白い」と回答した生徒80% 	<ul style="list-style-type: none"> ①夏季休業中に1学期の実践をまとめ人選交流会を実施し、主体的な学びの育成に向けて協議し、神辺東中授業モデルを作成した。 ②思考回路の構築した授業づくりにより、授業が「わくわくする問いのある」68%、「学びが面白い」73%である。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 神辺東中授業モデルの実施により授業改善をする。 進行管理シートをもとに、授業改善と生徒の学習意欲の向上をしていく。 神東タイムを機能させ、基礎学力の定着をしていく。 家庭学習の充実や放課後学習などの取組を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業実践の交流や進行管理シートを基に、各教員が重点化して授業実践した。 3学期は重点項目で研究グループを作成し、相互授業参観などを通して授業力の向上を図った。 授業が「わくわくする問いのある」70%、「学びが面白い」73%であった。 	4	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 「思考回路を構築」した授業モデルの共通理解を図り、授業研究を推進し、生徒の授業満足度を高めていく。 教員の研究グループを活用し授業改善を進めていく。 家庭学習の充実と放課後学習に継続して取組み、生徒の学力向上をしていく。
1	自立した・心の優しい生徒の育成		継続	<ul style="list-style-type: none"> フォーサイト(手帳)を活用し見通しをもって計画的に目標にチャレンジできる生徒を育成 	<ul style="list-style-type: none"> 月別行事別フォーサイト活用方針を確立し、活用について計画的な指導・助言 	<ul style="list-style-type: none"> ④フォーサイトの活用指導ができた教師100% <生徒アンケート> ⑤「見通しをもって生活し、目標を達成できた」と回答した生徒80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ④4月に活用方針についての研修を行い、生徒へ活用指導をした。(100%) ⑤フォーサイトの活用で「見通しをもち、目標の達成」は52%であった。 	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 神辺東タイムや教科の時間を活用し、フォーサイトによる1週間の計画の作成・実施について振り返る活動をする時間を位置付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> フォーサイトの効果的な活用指導の仕方を全校及び各クラスで行った。(100%) 試験や冬季休業での学習計画の作成をさせ、活用の習慣化に取組み、「見通しをもち、目標の達成」は64%であった。 	3	2	3	<ul style="list-style-type: none"> 行事の実施前や神東タイムでフォーサイトを活用し、学校全体で取組を推進し、交流する。 生徒会主催の目標達成コンクールを開催していく。(フォーサイトを活用した企画書提出)
			新規	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身と仲間を大切に思いやりのある行動ができる生徒を育成 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の時間の充実とアンケート・教育相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> <生徒アンケート> ⑥「道徳の授業がためになる」と回答した生徒80% ⑦アンケート・教育相談を学期1回実施100% 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥魅力ある教材の提示やねらいの明確化の工夫により「道徳の授業がためになる」90%であった。 ⑦教育相談を実施し、いじめの認知(0件)・早期解決・早期対応し解決できた。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導上の諸問題に係る「報告・連絡・相談」を確実に行う。 定期的な相談委員会や学期に1回の教育相談を実施し、方針を出し、生徒指導上の諸問題に取組み早期解決をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導体制を確立させ、事案に対して取組みが行えるようになってきた。 アンケートの改善及び面談の実施により「安心して過ごせる」80%、「道徳の授業はためになる」90%であった。 	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導主事の人材育成を図り、組織的な生徒指導体制を確立していく。 積極的にいじめを認知し、生徒への面談を実施し、安心・安全な学校づくりを進めていく。

2	たくましい生徒の育成と保護者・地域から信頼される学校づくり	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者の声を受け止め、個別最適の取組実施 ・教職員の笑顔と元氣、やりがいと達成感の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的・継続的教育相談活動と保護者連携 ・超過勤務月45時間以内を意識した業務ができる教職員 	<p><生徒アンケート></p> <p>⑧「学級・学校が楽しい」と回答した生徒90%</p> <p><保護者アンケート></p> <p>⑨「神辺東中学校の教育活動に満足している」と回答した保護者90%</p> <p>⑩時間外月45時間以内の教職員80%</p>	<p>⑧「学びが面白い」授業づくり、生徒の自発的・自治的活動の充実により「学級・学校が楽しい」86%であった。</p> <p>⑨行事の参観や便り、HPなどの情報発信から、「本校の教育活動の満足度」88%であった。</p> <p>⑩時間外月45時間以内の教職員は、88%で仕事のスピード化が図られてきた。</p>	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事で、生徒会に企画に携わせさせ、起案を通して指導し実施させる場を作る。 ・活動の様子を継続的に保護者に伝えていく。 ・業務を精選し、時間を意識した仕事の仕方を身に付けるように指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神辺東祭(体育の部・文化の部)で生徒会執行部が企画・運営に携わり「行事では目標の達成をした」83%、「学校が楽しい」90%であった。 ・HPや学校だより、参観などにより生徒の主体的な活動の充実の様子を伝え、保護者の学校満足度は84%であった。 ・時間外月45時間以内の教職員は、72%であった、仕事のやりがいは100%であり、学校教育目標の実現に向けて教育活動を行った。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会執行部に行事の企画・運営を担わせ、自治的・自発的な活動を引き続き仕組んでいく。 ・主任・主事のマネジメントによる協働的な職務の遂行を図り、時間外45時間以内の職員80%以上にしてい ・起案システム、定期的な面談の実施、校外研修への参加などにより職員の人材育成をしていく。
---	-------------------------------	----	--	--	--	---	---	---	--	--	---	---	---	---

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。

2024 年 (令和 6 年) 2 月 14 日

福山市立神辺東中学校長 様

神 辺 東 中 学 校 区
学校関係者評価委員会

2023 年度 (令和 5 度) 学校関係者評価報告書

評価結果

	評価項目	評価
1	中学校区や学校のめざす子ども像がよく分かった。	◎
2	中学校区や学校の児童生徒の現状や課題がよく分かった。	◎
3	学校が本年度何を重点目標として取り組むのかがよく分かった。	◎
4	短期経営目標や評価項目・指標等の達成状況がよく分かった。	◎
5	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策がよく分かった。	◎
6	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策を実行している。	◎
7	中学校区や学校は、教育活動に関する情報を、保護者・地域住民等に積極的に発信している。	○
8	積極的な情報発信により、中学校区の学校・保護者・地域が互いに連携協力を深めている。	○
【意見等】 ・どの学校、どの先生方も本当によく取り組んでくださっている。 ・各校、取組んだ結果の達成度(数値)の説明が多く、その数値の質的部分の説明が不十分であった。取組んだ内容が十分に伝わる説明となるよう工夫改善を図ってほしい。 ・学校を常にオープンにしていると伝えたが、敷居が高いのも現状である。情報発信や来校できる頻度が増やせる取り組みを模索・検討してほしい。		

※ 評価基準

評価	基準	説明
◎	十分満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を高い水準で達成していると考えられる。
○	おおむね満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況をおおむね達成していると考えられる。
△	努力を要すると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を達成していないと考えられる。